



2015 年 7 月 9 日

## **BMW i が世界最大規模の国際芸術祭 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」に協賛**

ビー・エム・ダブリュ株式会社(代表取締役社長: ペーター・クロンシュナーブル)が取り扱う、持続可能な次世代モビリティを提供するプレミアム・ブランド BMW i(アイ)は、本年 7 月 26 日(日)から 9 月 13 日(日)にかけての 50 日間、新潟県越後妻有(えちごつまり)地域で実施されるアートプロジェクト「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」に協賛する。

「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」は、日本有数の豪雪地帯として知られる新潟県十日町市および津南町の広大な里山を舞台に、アーティストと地域住民とが協働して現代美術作品を制作、厳しくも豊かな自然に包まれた地域の魅力を世界に発信する芸術祭である。2000 年の第 1 回以来 3 年に一度のペースで開催されており、その活動は「地域づくり表彰 国土交通大臣賞」(2010 年)、「第 10 回エコツーリズム大賞特別賞(環境省、日本エコツーリズム協会)」(2015 年)の受賞をはじめ高く評価されている。

新作約 180 点が出品される本年の第 6 回展で、BMW i は「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」に初めて協賛する。その趣旨は、「人は自然に内包される」という基本理念のもとに行われている同イベントが、今回特に「人間が自然の中で生きていくために培ってきた様々な創意工夫、それを理解する仕組みとしての作品」に焦点を当てており、BMW i が主題に掲げるサステナビリティ(持続可能性)と共通の価値観で構成されていることである。

BMW i はイベントのオープニングにプラグイン・ハイブリッドの高性能スポーツ・カー BMW i8 を登場させるほか、オリジナル・デザインを施した電気自動車 BMW i3(レンジ・エクステンダー装備車)をオフィシャルカーとして 8 台提供、また週末には芸術祭のメイン会場となる越後妻有里山現代美術館「キナーレ」において BMW i3 の展示・試乗会を実施する。さらに環境性能に優れ自然と調和する BMW i3 を芸術祭の現地でご自由にお使い頂けるモニター・ドライブ権や、イベント入場に必要「大地の芸術祭パスポート」が当たるオンライン・キャンペーンも実施される。

### **キャンペーン ウェブサイト**

BMW i3 で巡る、越後妻有アートトリエンナーレ 2015 キャンペーン

<http://bmw-i.jp/echigo-tsumari/>

## イベント概要

- 名称: 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」
- 日時: 2015 年 7 月 26 日(日)～9 月 13 日(日)
- 会場: 越後妻有地域 (新潟県十日町市、津南町)
- ウェブサイト: <http://www.echigo-tsumari.jp/>
- 主催: 大地の芸術祭実行委員会
- 実行委員長: 関口芳史(十日町市長)
- 総合プロデューサー: 福武総一郎(公益財団法人福武財団理事長)
- 総合ディレクター: 北川フラム(アートディレクター)
- クリエイティブ・ディレクター: 佐藤卓(グラフィックデザイナー)

## BMW Group の文化事業について

BMW グループは 40 年以上にわたり国際的な文化支援事業を続けており、現在全世界で 100 件を超える文化プロジェクトに関わっている。BMW は主にモダン&コンテンポラリー・アートのほか、クラシック音楽、ジャズ、建築、デザインなどのジャンルにおいて長期的な支援を行っている。1972 年にゲルハルト・リヒターの手で、BMW グループのミュンヘン本部建物のロビーを飾る大作の絵画 3 点が作成された。以来、アンディ・ウォーホルとロイ・リキテンスタイン、オラファー・エリアソン、ズービン・メタ、アナ・ネトレプコ、ジェフ・クーンズら、数多くのアーティストが BMW とコラボレーションを組んできた。そのほか BMW は、本社社屋と工場の設計を、カール・シュヴァンツァー、ザハ・ハディッド、コープ・ヒンメルブラウなど著名建築家に依頼し、活動の場を提供してきた。2011 年には、ソロモン・R・グッゲンハイム財団、グッゲンハイム美術館、BMW グループによる国際的な共同企画として近未来の都市づくりの場を提供する BMW グッゲンハイム・ラボが、ニューヨークにおいて世界初のオープニングを飾った。BMW は、自由な創造活動の保証を重んじ、自動車メーカーとして重要な革新を成し遂げるにも、画期的な芸術作品の誕生にも、それは欠くことのできない要素であると認識している。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、  
BMW カスタマー・インタラクション・センター: フリーダイヤル 0120-269-437 を  
ご掲載ください。

受付時間: 平日 9:00-19:00 / 土日祝 9:00-18:00  
BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:  
BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8025 (企業広報)